

船舶事故調査報告書

平成28年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年3月9日 10時15分ごろ
発生場所	長崎県五島市福江港 福江港2号防波堤灯台から真方位180°970m付近 (概位 北緯32°41.5′ 東経128°51.2′)
事故の概要	漁船第二十七源福丸 ^{げんぶく} は、東北東進中、干出浜に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年3月14日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 第二十七源福丸、85トン
船舶番号、船舶所有者等	130397、東洋漁業株式会社
乗組員等に関する情報	船長、四級（航海）
負傷者	なし
損傷	右舷船底外板に凹損、左舷船底外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風速 約12m/s、視界 不良 海象：潮汐 下げ潮の初期（大潮）
事故の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、福江港^{おおつ}大津地区の北側にある公共岸壁に着岸する予定で同港内を南進したが、風波の影響で着岸が困難な状態であったので、急遽^{きょ}、その南西側にある公共物揚場に着岸するため東北東進中、同物揚場から拡張する干出浜に乗り揚げた。</p> <p>本船には、海図が備えられていなかった。</p> <p>船長は、公共物揚場から拡張した干出浜の存在を知らなかった。</p> <p>船長は、本事故当時、水深が表示されるGPSプロッターを休止させていた。</p> <p>海図W1250（福江港）によれば、事故発生場所付近の公共物揚場には、同物揚場から西方に約40mまで干出浜が拡張している。</p>
分析	本船は、船長が公共物揚場から拡張する干出浜の存在を知らなかったことから、同干出浜に向けて航行し、干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、船長が公共物揚場から拡張する干出浜の存在を知らなかったため、本船が、同干出浜に向けて航行し、干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSプロッターや海図を活用して、航行予定海域の水路調査を行うこと。